

令和5年度 第2回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月6日（木） 14時30分から15時50分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木澄子、秋山順一、齋藤 千朝、熊谷 三郎、鈴木 崇之
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 雄介（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 太田 秀子（校長）、古橋 佳代（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代

10 議長の選出

議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は秋山委員が務める旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 今後の学校応援団のねらいと活動について
- (2) 1学期学校評価について
- (3) HEROプロジェクト活性化について
- (4) 「北浜小冠水マップ」作成について

12 会議記録

校長から、委員総数5人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今後の学校応援団のねらいと活動について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・何の為に活動するのか明確にする方がよい。地域の人との係わり合いが深くなることは、子供たちによい影響を与えると思う。 (熊谷委員)
- ・地域の人たちは子供たちと触れ合うことで喜びを感じている。関係を積み上げていく機会が必要である。学校支援等、できることはサポートしていきたい。 (秋山委員)
- ・参加した人が楽しいと感じ、再びボランティア活動に参加してもいいと思ってもらえることが大切である。1年間の活動計画表を作成し、それに基づいて募れば、参加希望者が予定を立てやすいと思う。 (齋藤委員)

- ・ボランティアが必要な1か月前に募集をかけて、参加できる人に参加してもらおう形でもいように思う。(鈴木崇之委員)
- ・地域と学校を結びつけていく方法について明確化する必要がある。また、本の読み聞かせ、草刈りなど各活動ごと組織化することが大切に思う。(鈴木澄子委員)
- ・ボランティア依頼から活動するまでの流れが確立できていないのが、今の課題である。(委員一同)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 1学期学校評価について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、1学期学校評価について説明があり、全員異議なくこれを承知した。

(3) HEROプロジェクト活性化について

議長の指示により、別紙資料に基づきHEROプロジェクト活性化について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子供たちに目的意識をしっかりと持たせることが大事である。それが重点目標である主体性ある子供を育てることに繋がるように思う。(熊谷委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 「北浜小冠水マップ」作成について

校長より、別紙資料に基づき「北浜小冠水マップ」作成について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・近年、冠水することが多くなり、こういうマップを作成することは意義がある。(委員一同)
- ・異常気象が発生した時、素早く対応する為には地域の方の協力が必要不可欠である。これからも、子供たちが安全安心して通学できるように、これからも支援していただけると有り難い。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和5年11月24日(金)午後14時30分から北浜小ほっとルーム(会議室)で開催する旨の報告があった。